

## 大和川ー古代大和王朝から現代の川づくり



大和川は、日本国歴史の始まりの舞台、古代大和王朝の時代から悠久の歴史を育んできた河川である。大和川の川づくりは歴史に学び、日本国の始まりから現代までをモチーフにしたい。「水士を拓いた人々」(農業土木学会 編)「大和川の付け替えと中甚兵衛」から

## つばいち 巻向・海石榴市



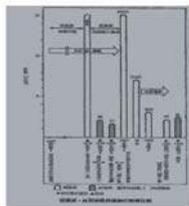
随や唐の時代、外航船は大阪・難波津で小舟にのりかえ、河内平野の湿原のなかをさかのぼり、さらに、小舟に乗り換えて亀の瀬急流の難所を越えて、大和平野に入り、藤原京の玄関口巻向・海石榴市で上陸するルートが国際文化交流の原点でもある。

## 大和川の付け替え工事



1703年付け替え工事の始めの杭が打ち込まれた所が「築留」である。現代の大和川から取水される長瀬川の三番樋に土木功労者「中甚兵衛」の像が建っている。築留土地改良区は旧大和川に残された長瀬川と玉串川を農業用排水路として管理している。

## 付け替え事業促進派と反対派の50年の争い



大和川の洪水を制御して、河内平野の浸水を防ぐことは、大阪の発展にとって不可欠であり、河内平野の千町歩を新田開発する、夢の大工事であった。一方で、新しい大和川となる村落は立ち退きを余儀なくされ、また、これまでの舟運と紀州街道・高野街道に利権を持つ業者は反対に回った。賛成派と反対派はそれぞれ江戸表に嘆願を繰り返した。

## 歴史に学び歴史を生かす川づくり



今、我々は何をしようとして

大和川の川づくりは、歴史の原点を忘れないこと、そのために川の原風景を壊さない、川の生態系を壊さない、ことを第一義として、人間生活に必要な最低限の改良に止めることを念頭に考えよう。ゴミや汚水は川に流さない、河川堤防は堤防の基礎となる芯を強固にして外形は出来る限り原風景のままとすること、堤外地の利用は生態系保全を優先する、利水施設は原風景保全と生態系保全に配慮すること、その他の河川構造物は出来る限り排除すること、などが考えられる。

## 世界の川づくり・街づくりからも学ぼう



オランダ・アムステルダムは名前の通りダムに守られた街である。15世紀から百年ごとに運河が一本づつ開削されて、同心円状に都市が拡大した。現在のアムステルダムはその街の発展の歴史を運河とともに保存し、決して、埋め立てるようなことはしない。運河は街のシンボルであり人々の誇りでもある。

## シルクロードの東の始発駅(海石榴市)



海と川のシルクロード 東の始発駅(海石榴市)

つばいち 司馬遼太郎の「街道をゆく」にもあるように、シルクロードは西のローマから東の長安を経てさらに藤原京まで延びていた。大和川は古代東西の文化を結び交際の日本最古の国際舞台であった。

## はいせいせい 小野妹子と裴世清



遣隋使の小野妹子とその返礼の使者裴世清は7世紀、長安と藤原京を旅行した歴史に残る人物である。この二人が出発の地、終着の地とした大和川は絶えることなく悠久の歴史を今に伝えている。

## 昔の大和川の本流



長瀬川と玉串川は農業水路となって残されたが、今日、地域の都市開発とともに汚水の流入と雨水の溢水氾濫に悩まされてきた。近年、浸水対策工事が実施され、また、地域の下水道整備も進み、河川公園の環境整備も行われるようになり、環境改善ボランティア活動も次第に活発になってきた。しかし、昔の面影はなくなってしまった。

## 事業負担と新田開発



事業費の負担は、大阪町衆が地代金として3万7千両を支払って新田開発の権利を得た。工事代金は約7万1千両で、幕府負担3万7千両、藩負担3万4千両であった。この事業で大阪町衆は開発に貢献するとともに、上方経済繁栄の礎のひとつとなった。

## 吉野川分水

大和川水系には、吉野川(紀ノ川)や木津川から農業用水や上水道として大量の用水が流域変更されている。下流の大阪府域においては淀川から上水道、工業用水が供給されている。経済の発展や生活の便利のために大和川は他流域の河川との関係が広域化・複雑化している。利水や治水の問題として、広い視野から川づくりを考えなければならない。



十津川紀ノ川総合開発事業と吉野川分水

## テムズ川、セーヌ川



アジアンモンスーンに位置する日本の川とは趣を異にするのだが、テムズもセーヌも街のシンボルであり、その川づくりには歴史を刻み込んだ人々の思いが伝わってくる。なぜか、日本の川にはそのような人々の思いが川づくりに生かされていない。大和川の河川整備計画は悠久の歴史と人々の思いを伝える川づくりにしたい。

# 大和川付け替え300年と 現代

大阪府立大学大学院  
荻野芳彦



## 築留土地改良区 中甚兵衛と長瀬川二番樋・築留堤





# 海と川のシルクロード 東の終着駅(海石榴市)

## 纏向・海石榴市



(奈良新聞社)

# 小野妹子と裴世清

607年(推古天皇)に派遣された遣隋使小野妹子らの帰朝にさいして、裴世清ほか隋使12人が同行し、世清は国書を携えた。608年6月朝廷は難波に新しい客館をつくり、難波津に飾船30艘、

儀仗兵数100人をもって世清らを迎えた。

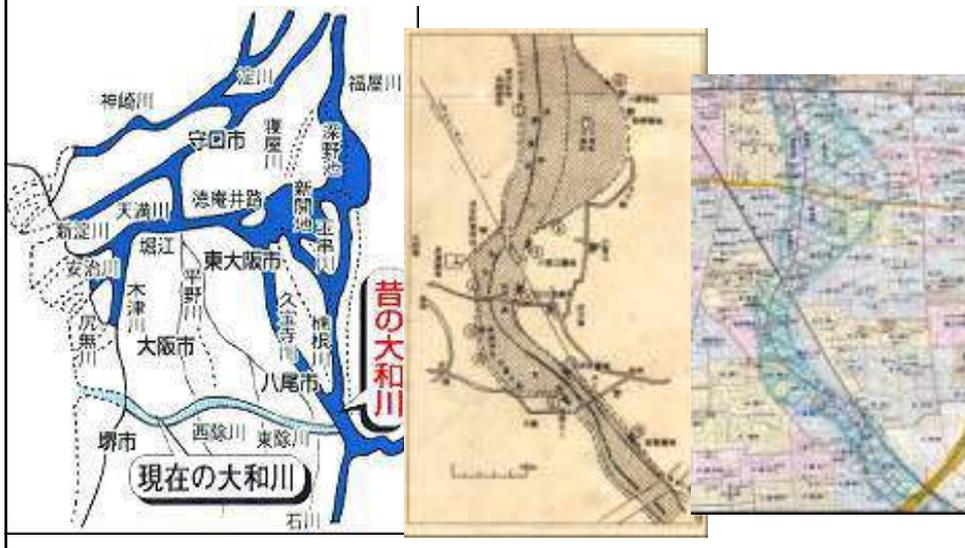


(華道家元池坊総務所)

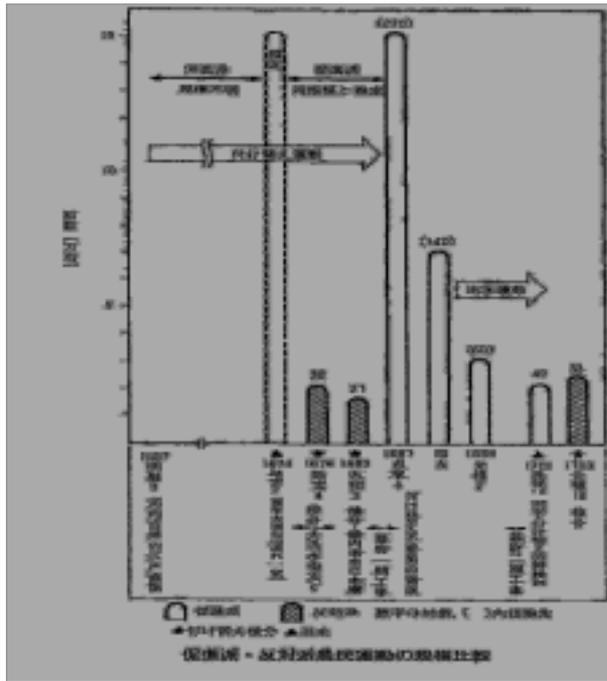


(大阪ワッソ文化交流協会)

# 大和川付け替え工事 (1703年)



# 促進派と反対派農民運動



## 事業費負担と新田開発



工事入用金 71,000両

うち

大阪城御金蔵から  
37,000両

お手伝五大名から  
34,000両

新田開発地代金落札計  
37,000両

今我々は何をしようとして  
いるのか



十津川紀ノ川総合開発  
事業と吉野川分水



# オランダ・アムステルダムのまち作り



